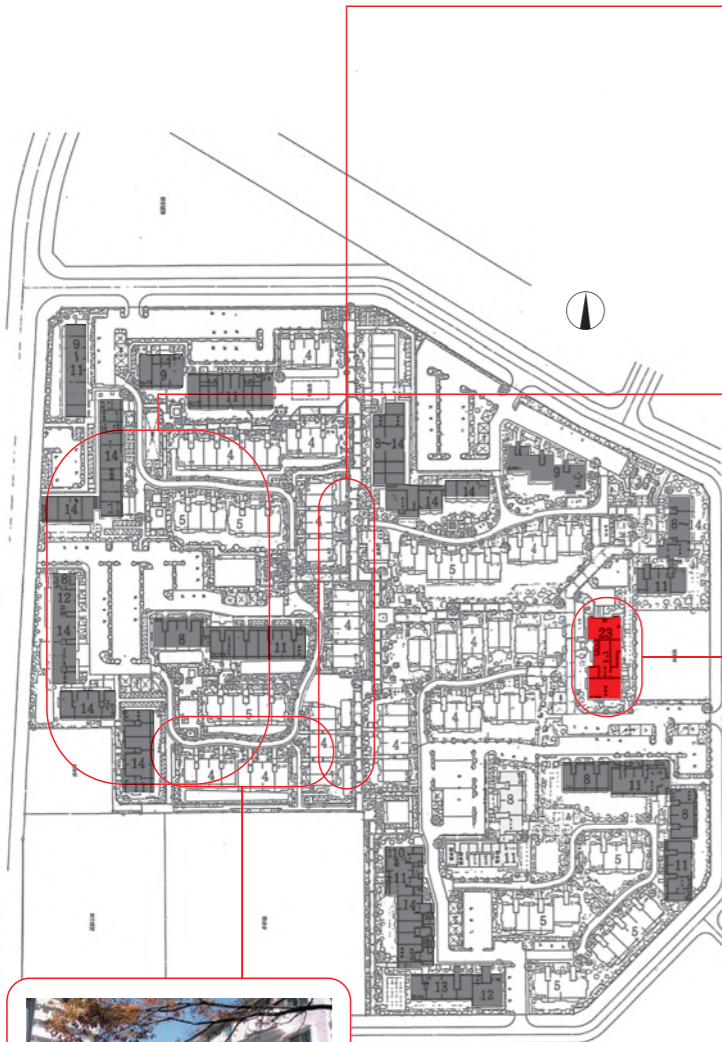


低中高層・超高層ミックス

大規模開発では、昭和40年代に実施されたグルーピングの手法をさらに発展させた配置計画がなされた。都市の多様性を求めて、異なる住棟形式を同一街区内に配置した。住宅の型式を混在させたことも空間構成に反映された。

葛西クリーンタウン・清新南ハイツ

東京都・公社との共同開発による事業であった。勾配屋根の中層と陸屋根の高層、超高層住棟（3棟で荒川景観軸を創出、オール電化公団第1号）がバランスよく配置された賃分併存の高密度団地である。L字・雁行住棟による緩やかな囲み領域と、沿道に沿って街並みを形成する空間構成となっている。開放的な歩行者路と、歩車融合（ボンネルフ）の道路構成を有し、リビングアクセスやメゾネット住戸、6戸1エレベーター型住棟（ニューモデル高層住棟）などの多様な住宅・住棟企画が採用されている。



勾配屋根の4階住棟の間を走る主要歩行動線



勾配屋根の中層住棟と、8～14階の高層住棟のミックス配置が生み出す独特な領域空間



まちのランドマークとなる超高層住宅



蛇行する歩車融合道路や歩行者路沿いの雁行する住棟や植栽などの生活空間が心地よい



片廊下型住棟の共用廊下側に主開口を配置し、共用部の閉塞感の解消を図ったリビングアクセス

■ 超高層 ■ 高層 □ 中層

密集市街地再生・再開発

防災などの市街地性能を高める密集市街地再生や再開発に取り組んだ。駅前整備、延焼遮断帯や広域避難場所の整備、不燃化促進など、都市居住の新たな魅力と先駆性のあるまちなか居住を追求した。

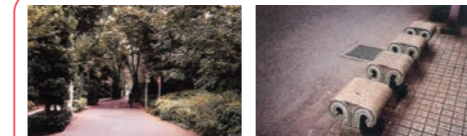
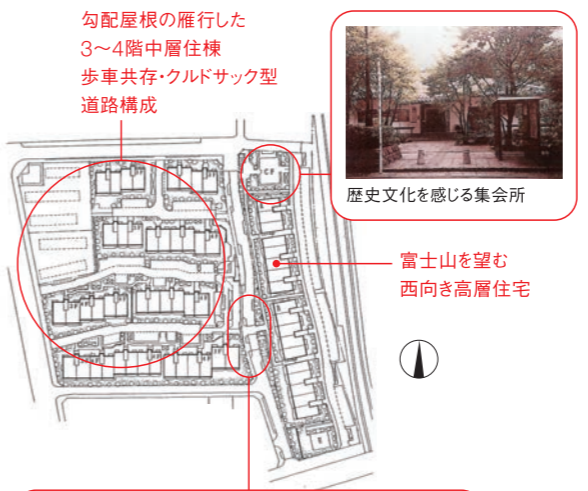
密集市街地の再生：立花一丁目地区

公団が直接施行した市街地再開発事業（居住環境整備型）の第1号である。周辺は、中小工場や路線商店街のある下町の密集市街地で、敷地南側に北十間川が流れている。敷地の北側一部と隣接地を含めた再開発事業によるまちづくりである。ツインコリドールの南北軸住棟2棟の間に設けられた中央広場は、広場が少ない地域の貴重な空間であり、緑地や遊び場が開放的に配置され、周辺にとけ込んでいる。



駅前地区の面的整備：西国分寺史跡通り

再開発事業やコミュニティ道路、代替地造成、公共施設整備など、多様な事業手法・主体・関係者によるまちづくりである。史跡通り（歩車共存道路）の雰囲気づくりに配慮している。東側の高層住宅は高密度のため南北軸スキップ型8階・壁面タイル貼り、西側の中層住宅は勾配屋根とし、歴史を感じさせる集会所デザインなど、武蔵野の史跡イメージを継承している。



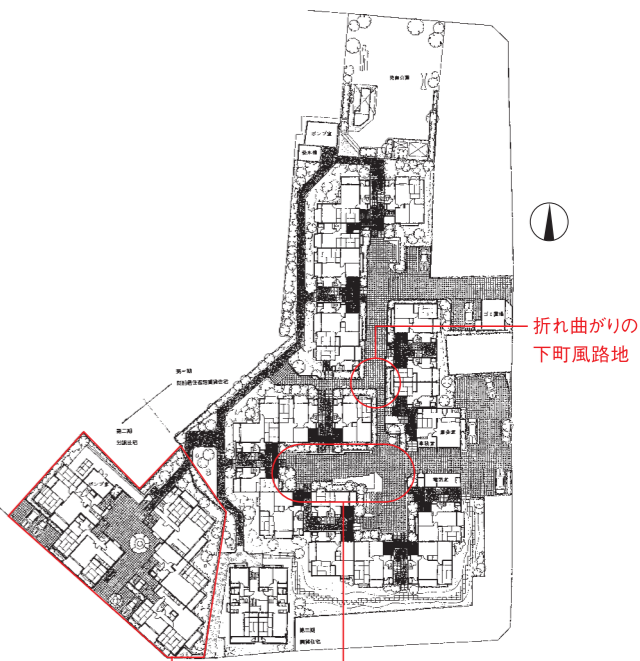
歩車共存の史蹟通り 武蔵野の史跡の雰囲気づくり
歴史文化を感じるツール

防災拠点のための受皿住宅：木場公園三好住宅

広域防災拠点として整備された木場公園内の従前居住者のための受皿住宅として建設された。複雑な敷地形状の中、周辺への日照・通風に配慮し、4階以下に抑えた建物構成や親しみのある路地空間を工夫し、階段室住棟を雁行させた囲み型配置としている。



折れ曲がりの下町風路地、陶板舗装 縦格子や分節などの新しい下町景観



特定住宅市街地総合整備促進事業の受皿住宅（分譲）
和風デザインの中庭



周辺環境に馴染む勾配屋根 日当たりの良い共用の屋上広場、縁台風ベンチ
和風デザインの中庭